

2023年度 ニチキッズみずえ小規模保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年2月1日（木）～2月26日（月）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月5日（火）
	実施方法	話し合いにより職員全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念を基に、子どもをまんなかに保育者・保護者・地域の方、保育園に関わってくれた多くの方々との繋がりを大事にした保育を目指し、みんなに見守られながら、情緒が安定して、安心して過ごすことができるよう取り組んでいた。
子どもの発達援助	子どもの姿を踏まえ、発達、状況を理解し、その子どもにとって何が必要か、そのためには、どんな関わり方をしていくのかを保護者と連携を取りながら、職員間で情報共有し、子どもの気持ちに寄り添い、自分の思いを表現できるように丁寧な関わりを実践していた。
保護者に対する支援	親子参観、親子遠足、運動会などの行事を通して、園での様子を見てもらい、一緒に参加し、成長の過程を共感し、喜び、楽しく子育てができるように努めた。日頃から子どもの小さな変化や気づきを伝え、共有し、保護者の方の気持ちに寄り添い、信頼関係を深めていくことに努めた。
保育を支える組織的基盤	外部研修では、乳幼児期に大切な研修を個々に参加し学び、園内研修では、現場で必要な実技研修（SIDS,事故予防、感染症対策など）を行った。それぞれが気づきや知識を職員会議やミーティングで情報を共有し、保育のスキルアップを図った。

総評
保育理念や保育方針を土台に、ゆったりとした雰囲気の中で安心して園生活が送れるように保護者と連携をとりながら様々な遊び、触れ合い遊び、歌や手遊びなどを通して十分にスキンシップを図り、信頼関係を築けるようにしていた。食育では、食べ物に興味をもち、見る、触る、におい、噛んで味わうなどの経験を通して、「自分で食べたい」、そして友だちと一緒に食べる楽しさを経験することで食への意欲を高めることができた。 次年度も子どもたちが「おもいっきり遊び、おもいっきり学ぶ」を基に、一人ひとりの個性や育ちを園児、保護者、保育者も認め合いながら伸ばしていける環境づくりをしていきたい。